

2016年度第3四半期の貯金残高について

2017年2月22日



1 2016年度第3四半期の貯金残高について

- 2016年12月末の「個人貯金等」は3月比で2.5兆円増加の176.9兆円。（前年同期は1.4兆円の増加）（A）
※年金の支給により、偶数月は通常貯金を中心に残高が増加する傾向にあり、3月末との比較では、増加要素となる。
- 貯金種類ごとに前年同期と比較すると、
 - ア 振替貯金（総合）は、有利子貯金へのシフトにより減少。（B）
 - イ 定期性貯金については、昨年を若干上回る減少。（C）
 - ウ 通常貯金については、上記アの理由や「払戻し」が減少傾向にあることから、増加幅が拡大。（D）

※ 「個人貯金等」とは、貯金残高から、法人等の決済性預金（＝振替貯金（一般））、大口定期、その他貯金を除いたもの

				(単位：兆円)	
	①2016年3月末	②2016年12月末	増減（②－①）	2015年度 同期の増減	2014年度 同期の増減
貯金残高	177.8	180.0	2.2	1.1	1.1
個人貯金等	174.4	176.9	(A) 2.5	1.4	1.4
通常貯金	49.9	54.4	(D) 4.4	1.2	0.7
定額貯金	102.4	102.3	(C) ▲0.0	0.2	1.5
定期貯金 大口定期 除く	11.2	10.3	▲0.8	▲0.8	▲1.5
振替貯金（総合）	10.8	9.8	(B) ▲0.9	0.8	0.7
法人貯金等					
振替貯金（一般）	3.0	2.9	▲0.0	▲0.2	▲0.1
大口定期	0.2	0.0	▲0.2	▲0.1	▲0.0
その他	0.1	0.1	▲0.0	0.0	▲0.0

- ※ 貯金残高には未払利子を含まない
- ※ 自社株取得に伴うグループ会社の貯金等の特殊要因を除く
- ※ 大口定期は、預入限度額適用除外法人等及びグループ会社による1,000万円以上の定期貯金への預入